

## 1. 修正

メニュー[砂防基盤地図]-[TINの差分と合併]で、修正された地形を囲む境界線が図郭の中に完全に入っている場合、その部分を除いた TIN ができない問題を修正しました。また、一旦合併した TIN に対して、再度差分の TIN を作成する際にエラーが発生して処理が止まる問題を修正しました。

## 2. 要素リストアップ

メニュー[ツール]-[要素リストアップ]に、注記の線号を変更する機能を追加しました。

**要素リストアップ**

データタイプ

E1面  E2線  E3円  E4円弧  
 E5点  E6方向  E7注記  E8属性

分類コード

すべての分類コード  
 分類コードを選択(1)   
 分類コードを選択(2)   
 分類コードを選択(3)   
 砂防基盤地図の3次元取得項目

2次元、3次元

2次元と3次元すべて  
 3次元  
 3次元で標高値が全て0.0  
 3次元で標高値が-999より高い  
 3次元で標高値が-999より高く0.0より低い  
 3次元で標高値が-999より高く、全て同じ  
 3次元で標高値が-999より高く、一部異なる  
 3次元で標高値が-999以下  
 2次元

図形区分

すべての図形区分  
 非区分(0)  
 射影部の上端(11)  
 射影部の下端(12)  
 表現補助データ(99)  
 表現補助データ(99)以外  
 0,11,12,99以外  
 定義以外

間断区分

すべての間断区分  
 間断区分=0  
 間断区分=1  
 間断区分=2~9

面(E1),線(E2)の点数

点数は問わない  
 2点  
 3点以上

面(E1),線(E2)の長さ・面積

長さは問わない  
 長さを指定(2D)  
 長さを指定(3D)  
 長さの最小値  m  
 長さの最大値  m  
 面積は問わない  
 面積を指定(2D)  
 面積  m<sup>2</sup>未満

その他の条件

注記の数値の小数点以下桁数が1  
 消去年月が空白か0以外  
 要素識別番号 =

処理

リストアップ(順次)  
 リストアップ(長い方から)  
 該当要素を削除する  
 分類コードを変更する   
 注記の線号を変更する   
 間断区分を0にする  
 間断区分を1にする  
 図形区分を表現補助データ(99)にする  
 面(E1)を線(E2)にする  
 点(E5)を方向(E6)にする  
 方向(E6)を点(E5)にする  
 円(E3)を点(E5)にする  
 点列の順序を反転する  
 標高値を10分の1にする  
 レポートパネル出力

OK キャンセル